

京都市の動物愛護に係る事業の概要、実績等

1 犬の収容頭数

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度2月末	
収容頭数		217	239	161	209	205	111	
内 訳	放棄頭数	132	141	75	109	112※	36	
	内 訳	成犬	129	131	71	105	94	36
		子犬	3	10	4	4	18	0
	所有者不明	85	98	86	100	93	75	
	内 訳	成犬	77	94	86	88	80	57
		子犬	8	4	0	12	13	18

※下鴨地域の多頭飼育者による成犬25頭、子犬12頭放棄事例あり

2 猫の収容頭数

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度2月末	
収容頭数		1,877	1,776	1,648	1,423	1,134	1,160	
内 訳	放棄頭数	329	251	306	173	115	102	
	内 訳	成猫	182	126	149	83	48	39
		子猫	147	125	157	90	67	63
	所有者不明	1,548	1,525	1,342	1,250	1,019	1,058	
	内 訳	成猫	99	108	81	80	75	79
		子猫	1,449	1,417	1,261	1,170	944	979

うち、がん等難治療3、
野犬・咬傷犬矯正困難5

3 犬猫の殺処分数（収容中死亡数除く）について

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度2月末
犬	122	76	24	37	24	8
猫	1,746	1,617	1,511	1,218	938	978

4 犬・猫の譲渡実績

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度2月末
犬	54	113	93	107	134	66
猫	41	80	41	55	48	84

5 「京都市まちなこ活動支援事業」に係る実績

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度2月末	(合計)
手術頭数	94	129	150	210	150	773
オス	41	50	56	107	72	326
メス	53	79	94	103	78	407
地域数(累計)	19	46	64	90	112	

6 ボランティアとの協働事業

(1) 犬猫の譲渡事業

平成22年度より、本格的に(公社)日本愛玩動物協会京都府支部との協働で、「犬猫の譲渡事業」を積極的に展開するとともに、動物専門学校講師や動物取扱業者(トリマー)に収容犬のトリミングを実施していただき、譲渡の促進に努めている。

また、犬については、動物行動学等の見識を持ち問題行動のカウンセリングも豊富な外部の専門家によって、行動矯正等を行い、社会への順応性を高めて、これまで行政では困難であった問題行動のある犬の譲渡についても譲渡の可能性を広げる。

さらに、猫については、センターから子猫を自宅で一時的に預かり、目の行き届いたきめ細やかなお世話をしていただける「子猫の一時預り在宅ボランティア」を、平成26年12月25日から約30名募集し、応募者36名の書類及び面接による選考を行い、猫を飼う上での必要な知識を習得するための講習会を受講後に登録し、センター開所に合わせて、子猫を預け、猫の譲渡促進を図る。

(2) きょうとアニラブクラス

動物愛護出前授業「きょうとアニラブクラス」を、小・中学校等において、NPO法人アンビシャス及び(公社)京都市獣医師会との協働により実施し、犬とのふれあい等を通じて、子ども達に「いのちの大切さ」を伝えた。

<きょうとアニラブクラス(平成26年度)>

開催施設名	参加人数(人)	開催施設名	参加人数(人)
京都市立池田小学校	56	京都市立太秦中学校	200
京都市立醍醐小学校	83	京都市立桃陽総合支援学校	40
京都市立第三錦林小学校	67	夢窓幼稚園	153
京都市朱雀第四小学校	57	洛東幼稚園	118
京都市立紫竹小学校	60	清水台幼稚園	120
京都市立葛野小学校	71	京都教育大学附属高等学校	60
京都市立京極小学校	50	YIC京都ペット総合専門学校	150
京都市立鳳徳小学校	45		
京都市立七条第三小学校	70		
京都市立宇多野小学校	80		
計 17施設		1,480人	
(参考)平成25年度	8施設	866人	
平成24年度	5施設	610人	

(3) 京都動物愛護センター（仮称）ボランティア募集・養成について

- 平成27年4月のセンター開所に向けて、計画的にボランティアスタッフを養成する必要があることから、平成25年度に第一期を、26年度に第二期を募集し、それぞれ書類及び面接による選考を行い、養成講座を受講した計75名をボランティアとして登録した。

	第一期	第二期
募集期間	平成25年9月2日 ～10月18日	平成26年6月2日 ～7月4日
募集人数	約30名	約50名
応募人数	115名	98名
登録者数	38名	37名
養成講座	平成25年12月 ～平成26年3月（計7回）	平成26年8月 ～11月（計7回）

- 養成講座を踏まえて、より実践的な知識や技術を習得し、センター開所後の活動に向け、次の取組を進めている。
- ・ 家庭動物相談所における実地研修（収容室の清掃や給餌など）
 - ・ 希望に応じて、4つのチーム（普及啓発プログラム開発、機関誌編集、展示コーナー、ボランティア元気アップ）に参加し、月1回程度の定例会を持ちながら、テーマごとの活動
 - ・ 動物愛護事業（動物愛護フェスティバルや学校出前授業など）への参加

7 府市共同事業

(1) 動物愛護週間行事

事業名	「Kyoto-Ani-Love Festival」（京都動物愛護フェスティバル）	
開催日	平成26年9月21日（日）午前11時～午後5時	
場 所	新風館 Re-Cue Hall 及び中庭	
主 催	京都府，京都市	
参加者	10,000人	
内 容	【Re-Cue Hall（ステージ）】 ・「京都動物愛護憲章（仮称）」シンポジウム ・動物愛護功労者表彰式 ・長寿犬認定式 ・ワーキングドッグの紹介 ・動物愛護写真コンクール表彰式 ・トークショー ・じゃんけん大会	【中庭】 ブース出展 ・ペットの飼い方相談 ・府市行政実績紹介 ・ワーキングドッグ紹介 ・動物もの知りクイズ ・動物愛護活動者及び大学サークル動物福祉活動紹介 ・シニア犬介護紹介 ・ペットグッズ作り等
参 考	参加者 平成24年度：8,000人	平成25年度：9,000人

(2) 動物愛護写真コンクール（府市共同実施）

テ ー マ 「人とペットとのふれあい」
（人とペット（哺乳類，鳥類及び爬虫類のペットに限る）
との愛情あふれた作品）

募 集 期 間 平成26年7月1日（火）～7月31日（木）

応 募 作 品 105点（平成25年度実績 123点）

(3) 京都動物愛護センター（仮称）関連

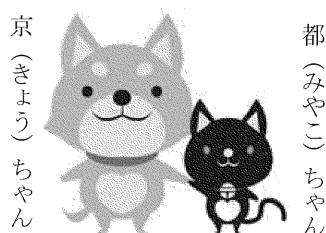
○ 京都動物愛護センター（仮称）の愛称及びマスコットキャラクターの公募

募 集 期 間 平成25年7月1日～7月31日

応 募 件 数 愛称180件，マスコットキャラクター155件

愛 称 「動物愛ランド・京都」

キ ャ ラ ク タ ー



○マスコットキャラクターの愛称の公募

募 集 期 間 平成25年9月22日～10月31日

応 募 件 数 217件